



The Association for Overseas Technical Cooperation and Sustainable Partnerships

30-1, Senju-azuma 1-chome, Adachi-ku, Tokyo 120-8534

Tel: 81-3-3888-8256 Fax: 81-3-3888-8242 E-mail: shouhei-au@aots.jp URL: <http://www.aots.jp/>

技術協力活用型・
新興国市場開拓事業
(研修・専門家派遣・寄附講座開設事業)

2023年10月

募集要項

南アジア品質管理研修コース

The Quality Control Training Course for South Asia

[SAQC]

2024年2月29日～3月15日

1. コース開設の背景：

一般財団法人海外産業人材育成協会（AOTS）は、主に海外の産業人材を対象とした研修及び専門家派遣等の技術協力を推進する人材育成機関です。これらの事業を通じて、日本と海外諸国相互の経済発展に貢献するとともに、友好関係の増進にも寄与します。

AOTS は 1959 年（昭和 34 年）8 月に日本で最初の民間による技術協力機関として通商産業省（現・経済産業省）の認可を受け設立され、これまでに日本で実施した研修には、2021 年度（令和 3 年度）までに世界 198 の国と地域から延べ 200,000 人余りが参加したほか、海外で実施した研修にも延べ 230,000 人余りが参加しています。

AOTS は帰国後の参加者や開発途上諸国の産業界からの要望に基づき、様々な研修コースの企画、開発に努めています。

本コースは南アジアにある製造業の管理者、監督者等を対象とし、参加者が日本の製造業で QC から発展した TQM について講義、演習、討論、企業見学を通じて理論と実践の両面から学び、品質管理の基本を正しく習得することで、現地製造業の管理者、監督者等の QC 的問題解決能力の向上を図ります。

2. 対象国：

インド、スリランカ、ネパール、パキスタン、バングラデシュ、ブータン、モルディブ

3. 参加者の人数：

25 名

4. 参加資格：

以下の資格を有することが必要です。

- (1) 原則として、南アジアにある製造業において TQM・品質管理の推進に携わる管理者、監督者等で QC 七つ道具の基礎的知識を有する方
 - (2) 原則として、年齢は 20 歳以上の方で、3 年以上の実務経験を有する方
 - (3) 大学卒またはこれに準ずる職歴を有する方
 - (4) 英語による聴講、討論、発表、報告書作成ができる方
 - (5) 心身健康な方
 - (6) 南アジアに居住の方
 - (7) 学生でない方、軍に籍をおいていない方
 - (8) 過去に AOTS が実施する国庫補助事業の研修制度で来日した方は、帰国後半年（183 日）以内に開始されるコースに応募することはできません。
- * 勤務先が日系企業、日系企業の取引先企業、今後日系企業との取引を予定あるいは希望している企業の方が望ましい。（日系企業や日系企業の取引先企業、今後日系企業との取引を予定あるいは希望している企業からお申込みいただいた場合、選考時の優先順位が高くなります。）

注意：

- (1) コース参加者は、研修コースの全てのカリキュラムに参加する必要があります。
- (2) 日本へ家族を同伴することはできません。
- (3) 参加者は AOTS に対してプログラムの追加を要望したり、自身でプログラムを計画したりすることはできません。このコースの終了後速やかに帰国しなくてはなりません。ただし、日本の受入企業がこのコースの終了後、実地研修を計画し、AOTS の承認を受けた場合はこの限りではありません。
- (4) 日本以外の先進国資本が入った企業からお申込みいただいた場合は、選考時の優先順位が低くなります。
- (5) 本研修は、主に民間企業・団体に勤務する方を対象としているため、中央・地方政府機関からお申込みいただいた場合は、選考時の優先順位が低くなります。
- (6) 申し込み人数が定員を上回る場合は、日本の受入企業または海外の派遣企業 1 社当たりの参加人数

を制限させていただくことがあります。

5. 研修コースの概要：

■ 目的

本コースでは、企業活動における品質全般に対し、その維持・向上を図っていくための経営管理手法の Total Quality Management (TQM) を取り上げ、日本企業が実践している TQM への理解を深め、TQM・品質管理活動の推進の正しい進め方と経営者・管理者の役割を理解するとともに、QC 的視点での問題解決能力向上を目的とします。

■ 期待される効果

- (1) 日本企業が実践している TQM 活動の基本を正しく理解することができます。
- (2) TQM 活動の推進における管理者の役割を明確に認識することができます。
- (3) TQM 推進に必要な仕組みや手法を実践的に使えるようになります。

■ 期間

2024年2月29日（木）～3月15日（金）（16日間）

■ 内容

上記コンセプトに基づき、本コースでは下記の内容について学びます。

【第一段階】

TQM の基本としてその概念とその進め方、及び QC 的ものの見方・考え方の概要を学ぶ。

【第二段階】

日本の TQM 実践において重要な「日常管理と方針管理」、「品質保証」、「生産システム」、「QC サークルによる人材育成」について、講義、演習（ケーススタディ及びシミュレーション）、企業見学を通して体系的に学び、日本企業の強みについて理解を深める。

【第三段階】

QC 的視点による「問題解決と継続的改善」について各グループで測定データを活用した実践的演習を通じて QC ストーリーとして取りまとめ、グループ毎に発表し、帰国後の自社の課題に向けた TQM 推進の取り組みに対する自身の役割を認識する。

コースは通常午前 3 時間、午後 5 時間の講義からなり、夕食後にグループ討論が行われます。

日程表（予定）をご覧ください。

■ 使用言語

講義、企業見学、演習は英語あるいは英語通訳付で行われます。コースで使用する資料と教材は英語で作成されます。

■ コースディレクター

西 敏明 岡山商科大学経営学部教授 学部長

日本品質管理学会理事、デミング賞委員会委員。大阪市立大学大学院理学研究科後期博士課程修了（理学博士）。書著：「ビジネスのための経営統計学入門」日科技連出版社（単著）など。企業・組織における品質管理・品質経営のあり方や、官能評価方法とそのモデル化を主要なテーマとし、研究に携わっている。

■ 研修場所と宿泊施設（予定）

AOTS 関西研修センター (KKC) <http://www.aots.jp/jp/center/about/kkc.html>

558-0021 大阪府大阪市住吉区浅香 1 丁目 7-5

電話：06-6608-8260（受付） ファックス：06-6690-2678

南アジア品質管理研修コース[SAQC] 日程（案）

2024年2月29日～3月15日

AOTS 関西研修センター（予定）

月／日	午 前	午 後
2月28日 (水)	来日	
29日 (木)	オリエンテーション 開講式	【講義】 TQM の基本 ・ TQM の基本的概念、歴史的変遷 ・ 品質の定義、管理との違い ・ TQM 推進のための組織 ・ TQM とその効果、新しい課題
3月1日 (金)	【講義】 TQM の進め方と QC 的ものの見方・考え方 ・ QC ストーリーの意義 ・ QC ストーリーの活用方法	【演習】 QC 的ものの見方・考え方 ・ 事例を用いた新製品開発に向けた QC ストーリーの演習 ・ マップ、SWOT 分析、クロス表の作成、分析の演習
2日 (土)	休日	
3日 (日)	休日	
4日 (月)	【講義】 方針管理と日常管理 ・ 方針管理の進め方とその手順 ・ 日常管理の進め方と必要な管理項目 ・ 機能別管理の構造とその進め方 ・ 方針管理、日常管理、機能別管理の関係	【演習】 方針の策定と展開 ・ 事例を用いた演習を通じた方針書・実施計画書・方針展開方法の理解
5日 (火)	【講義】 QC サークルによる人材育成 ・ 経営の視点における改善活動の意義 ・ QC サークル活動を通じた人材育成の理解 ・ QC サークル活動における推進者の役割の重要性 ・ 問題解決の方法、手順	【演習】 QC サークルの活性化策の作成 ・ QC サークル活動の活性化をテーマに特性要因図・系統図の演習
6日 (水)	【講義】 工程の管理と改善 ・ QC 七つ道具の各ツールの理解、データのまとめ方 ・ PDCA による工程管理の理解 ・ 工程の改善活動、問題解決の手順、方法	
7日 (木)	【講義】 生産システムの確立 ・ 生産システムの基本 ・ 資材所要量計画(MRP)の基本 ・ JIT(カンバン方式)の基本 ・ MRP と J I T の融合方法	【講義】 生産システムの事例研究 ・ MRP による生産システムの構成方法、および工場への生産指示の方法の理解 ・ カンバンシステムを組み込むための要点の理解
8日 (金)	【見学】 QC サークル活動事例	【見学】 TQM 推進事例
9日 (土)	休日	
10日 (日)	休日	
11日 (月)	【講義】 品質保証の進め方 ・ 品質保証の意義と変遷 ・ 各ステップの品質保証活動の理解 ・ ISO9000 の基本 ・ 品質保証のさまざまな評価基準、方法	【演習】 QC 工程表の作成 ・ QC 工程表の作成演習

12日 (火)	【演習】問題解決と継続的改善の体験学習（球Cゲーム） ・QCストーリーに沿って、各技法を用い、発射台から打ち出されたゴルフボールの停止位置の精度改善する問題解決と継続的改善の演習 ・データの収集	
13日 (水)	【演習】問題解決と継続的改善の体験学習（球Cゲーム） ・同上及びデータの分析	
14日 (木)	【演習】問題解決と継続的改善の体験学習（球Cゲーム） ・同上及び問題解決	
15日 (金)	【演習】問題解決と継続的改善の体験学習（球Cゲーム） ・最終発表	総合質疑／修了式
16日 (土)	(帰国)	

注意：

- (1) 上記のスケジュールは、講師や協力企業の都合、その他のやむをえない事情のために変更されることがあります。
- (2) 夕食後にグループ討論を行うことがあります。
- (3) 土曜日曜は原則として休日ですが、必要に応じて講義の予定が組まれることがあります。

6. 応募方法：

日本国内の法人（親会社等）を通じて申し込む場合と、海外の現地法人が直接 AOTS に申し込む場合では、応募方法、提出書類等が異なりますので、ご注意ください。

- (1) 管理研修参加後に実地研修を希望する場合、受入企業となる日本国内の法人（親会社等）を通じて申し込む必要があります。
- (2) 日本国内の法人を通じて申し込む場合、渡航費は対象となりません。但しアフリカからの参加者を受入れる場合のみ渡航費を対象とします。

（日本国内の法人を通じてのお申込みの場合）

(1) 仮申込み：お電話、または E-mail にて検討されている研修の概要（研修対象者の属性、実地研修の有無等）をご連絡ください。そのうえで、以下の応募書類を締め切りまでに、AOTS 研修・派遣業務グループ（12. お問い合わせご参照）までご提出ください。

1. 研修申込書（概要） 2. 研修生個人記録並びに研修契約に関する申告書 3. 事前研修レポート

(2) 本申込み：仮申込み受理の連絡を受けた後、本申込みに必要な書類の準備、段取りなどについて、ご案内いたします。

※ご不明点等ありましたら研修・派遣業務グループまでお問い合わせください。（12. お問い合わせご参照）

※上記 AOTS 所定様式は当協会ホームページからダウンロードできます。

【日本語】<https://www.aots.jp/hrd/technology-transfer/download/#kanri-shinkokoku>

（海外の現地法人から AOTS に直接お申込みの場合）

AOTS 海外協力機関を通して、以下の応募書類一式を PDF・エクセル両方の形式で、締め切りまでに AOTS 事業統括部に到着するよう提出してください。

応募書類の提出期限は、各団体によって異なりますので、AOTS 事業統括部（12. お問い合わせご参照）にお問合せください。

お申込者には AOTS 海外協力機関による面接をさせていただきます。

(1) 研修申込書、研修生個人記録申告書（AOTS 所定様式：手書きの記入は避けてください）

※PDF・エクセル両方のソフトコピーを提出

(2) 日本企業との取引および日本市場への参入に関する調査票 ※エクセル

(3) 問診書（AOTS 所定様式：手書きの記入は避けてください） ※PDF

(4) 研修生個人情報取り扱いについて（AOTS 所定様式） ※PDF

(5) 海外旅行保険承諾書（AOTS 所定様式） ※PDF

(6) 研修契約に関する申告書（日系派遣企業用） ※PDF

(7) 勤務先概要を紹介する資料 ※PDF

(8) 顔写真データ（データタイトルに氏名を入力してください） ※JPEG または PDF

(9) パスポートコピー ※PDF

※パスポートをお持ちでない場合は、自動車免許証コピーや ID カードコピー等（公的機関により発行されたもので、写真があり、ローマ字で氏名、生年月日が記載されているもの）を提出してください。

(10) 事前研修レポート ※WORD

注意：

※他にも必要に応じて書類を求めることがあります。

※上記 AOTS 所定様式については AOTS 事業統括部（12. お問い合わせご参照）にお問合せください。

提出された応募書類は、審査委員会で審査されます。審査結果は審査委員会終了後、AOTS より連絡いたします。

注：応募者が締切日時時点で参加者人数に満たない場合、本コースを中止または延期する場合があります。

本コースの応募締め切り：2023年12月15日

本コースの審査予定日：2024年1月25日

7. 到着日及び出発日について：

参加者は、原則として研修開始日の前日に日本に到着し、研修終了日の翌日に日本を出発することとします。

日本入国時の検疫措置は次の通りです。

<https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/bordercontrol.html>

8. 経費：

<日本国内の法人からお申し込みの場合>

以下の試算例をご参照ください。

いずれの試算例も、コース開始前日 2/28 来日・終了日翌日 3/16 帰国 16 日コース
関西空港・関西研修センター間移動の場合です。

【試算例 1】中堅・中小企業の場合 補助率 2/3

(日本円)

研修費用	総額	補助額	分担金
1. 受入費	188,840	[2/3] 125,893	[1/3] 62,947
2. 研修実施費	546,000	354,000	192,000
合計	734,840	479,893	254,947

【試算例 2】大企業（一般分野）の場合 補助率 1/3

(日本円)

研修費用	総額	補助額	分担金
1. 受入費	188,840	[1/3] 62,946	[2/3] 125,894
2. 研修実施費	546,000	296,000	250,000
合計	734,840	358,946	375,894

【試算例 3】大企業（重点分野）の場合 補助率 1/2

(日本円)

研修費用	総額	補助額	分担金
1. 受入費	188,840	[1/2] 94,420	[1/2] 94,420
2. 研修実施費	546,000	326,000	220,000
合計	734,840	420,420	314,420

※受入費は下記受入費基準額一覧をもとに計算しております。そのほか、国内移動費（関西空港・関西研修センター間）および厚生費（管理研修期間中の海外旅行保険代等）が含まれます。

※渡航費は補助対象外となります。（中堅・中小企業のアフリカ受入の場合を除く。）

※研修コース参加後に現地研修をご希望の場合、経費については、AOTS企業連携部 研修・派遣業務グループ（12. お問い合わせご参照）にお問い合わせ願います。

※中堅企業とは資本金 10 億円未満の企業、中小企業とは中小企業基本法に規定する中小企業、一般企業

とは中堅企業、中小企業以外の企業をいいます。但し、資本金又は出資金が 10 億円以上の法人に直接又は間接に 100%の株式を保有される事業者は中堅・中小企業としません。

※重点分野とは大企業のみが対象で、通常 1/3 の国庫補助率を 1/2 に引き上げられる案件で以下のいずれかに該当するものをいいます。

- (1) 実地研修が、開発途上国・地域の産業発展に大きく寄与する技術協力と認められるもの(新法人や新工場の立ち上げや先進的な新製品・新サービスの立ち上げの対応等(サプライチェーンの多元化・強靱化)に大きく寄与する案件を含む)
- (2) 海外進出先の対象国・地域がアフリカであるもの

◎受入費基準額一覧

AOTS 研修センター 宿舎費・食費	来日日のみ	9,020 円/泊
	来日日以外	9,900 円/泊
研修旅行時	宿舎費	12,100 円/泊
	食費	2,750 円/泊
雑費		1,040 円/泊

※管理研修終了後、実地研修を実施することができます。
その場合、以下の実地研修費が補助対象となります。

実地研修費	AOTS 基準	備考
実地研修に必要な経費に充当 (実地研修期間中における研修用資材、研修生の交通費、受入企業の指導員の人件費などの諸経費に充当するもの)	大企業 3,360 円/日	・日額単価・暦日 ・研修生への支払い方法は現物提供
	中堅・中小企業 5,190 円/日	

<海外の法人からお申し込みの場合>

英語版募集要項(The Program Outline)をご参照下さい。下記 URL より該当コースの募集要項をダウンロードください。

<https://www.aots.jp/hrd/technology-transfer/management/course/>

9. 査証 (V I S A) の取得について :

(1) 在留資格

日本で研修するために必要な在留資格は「研修」です。

(2) 査証の取得

参加者は、AOTS が発行する「GUARANTEE LETTER」等必要な申請書類をもって自身で在外日本国大使館/総領事館(以下「在外公館」とする)にて「研修」査証の申請、取得をしてください。ただし、申請書類が本省照会となり時間がかかる場合があるため時間に余裕をもって申請することを強くお勧めします。

(3) 注意事項

既に「短期滞在査証」、「短期数次査証」、「APEC・ビジネス・トラベルカード (A B T C)」等、「研修」以外の査証を取得している方、または査証免除国・地域からの参加者は、既存の査証が日本での研修コース参加という滞在資格に合致していることを事前に、必ず最寄りの在外公館にて事前確認してください。

10. 海外旅行保険の付保について

AOTS は、参加者に対し自国を出国した時から、自国に帰国するまでの期間を補償対象とした海外旅行保険を付保します。付保内容は傷病により医療機関で診療を受ける際の医療費と賠償責任・救援者費用で構成されています。別紙を参照の上、研修申込時に海外旅行保険付保に対する同意の意思確認のためサイン済みの同意書を提出してください。

1.1. 個人情報の取扱いについて：

AOTS が取得する応募者の個人情報については以下のとおり取扱います。

- (1) 個人情報の管理者： 一般財団法人海外産業人材育成協会 総務企画部長
連絡先： 総務企画部 総務・人事グループ
電話：03-3888-8211 E-mail: kojinjoho-cj@aots.jp

(2) 利用目的

ご提供いただいた個人情報は、参加者受入及び研修実施に関する事務手続きのために利用します。それ以外の利用目的または法令に基づく要請の範囲を超えた利用はいたしません。尚 AOTS の個人情報保護方針は、<http://www.aots.jp/jp/policy/privacy.html> をご覧ください。

1.2. お問い合わせ：

一般財団法人 海外産業人材育成協会

日本国内の法人を通じてのお申込の場合

企業連携部 研修・派遣業務グループ

住所 〒120-8534 東京都足立区千住東1丁目30-1

電話：03-3888-8221

Fax：03-3888-8428

E-mail: kigyoinquiry-az@aots.jp

海外の法人から直接のお申込の場合

事業統括部 海外協力グループ

住所 〒120-8534 東京都足立区千住東1丁目30-1

電話：03-3888-8256

Fax: 03-3888-8242

E-mail: shouhei-au@aots.jp

※本募集要項に書いてある要件は2023年5月9日時点の日本政府の水際対策に基づきます。日本政府の水際対策、療養解除条件の変更により、要件が変わる可能性があります。

PRE-TRAINING REPORT**The Quality Control Training Course for South Asia
[SAQC]**

This document will be used as a reference material in 1) the screening process of applicants and 2) the group discussion and the presentation to be held during the program by sharing with lecturers and other participants. Therefore, the applicant is requested to fill in all of the items clearly and concretely.

***AOTS will not use this information for any other purposes other than an AOTS training program.**
Note: Please fill in the following items by using a personal computer or similar equipment in English.
Handwriting should be avoided.

1. Your name	
2. Your country	
3. Name of your company/ organization	
4. Outline of your organization (Please give a brief description or outline of your company/organization . In addition, please also attach a brochure of your company/organization if available)	
5. Your position and department (preferably by attaching an organizational chart indicating your position)	
6. Your duties in detail	

7-1. Present activities for quality improvement in your organization	
7-2. Does your organization organize any QC circle activities? <input type="checkbox"/>Yes <input type="checkbox"/>No	
8. Most critical problem you are now facing in your quality improvement activities	
9. Has the spread of coronavirus infection affected your company's quality control activities? If so, how?	
10. How have the depreciation of the Japanese yen, high oil prices, and high material prices affected your company's quality control activities?	

<p>11. Your expectations of the program in relation to the described problems</p>	
---	--

Name	Country
------	---------

Questionnaire 1

Level of Comprehension

Please indicate the level of your comprehension by checking the appropriate boxes.

Level a : You have ever applied it in your work.

Level b : You know what it is. Or you have ever learned it in school or by yourself.

Level c : You do not know it well. Or you have never heard of it.

No.	Subject	Comprehension			No.	Subject	Comprehension		
		a	b	c			a	b	c
1	Pareto diagram				17	TPM			
2	Histogram				18	PDCA cycle			
3	Cause & Effect diagram				19	QC circle			
4	Scatter diagram				20	QC story problem solving			
5	\bar{X} -R control chart, X-R control chart				21	Quality deployment/ Quality function deployment			
6	p chart, np chart				22	Quality table			
7	u chart, c chart				23	FMEA/FTA			
8	Stratification				24	Design review			
9	Relation diagram				25	QC process chart			
10	Tree diagram				26	Standard operation procedure			
11	Matrix diagram				27	Process capability			
12	Normal distribution				28	Cost of quality			
13	Standard deviation				29	Management by Policy (<i>Hoshin Kanri</i>)			
14	3-Sigma rule				30	Daily (work) management			
15	SQC				31	Cross Functional management			
16	TQM				32	ISO9001			